

学校だより

令和7年度 第6号

東京都立小金井特別支援学校 令和7年9月1日



図書室リニューアルオープン！！～読書活動の充実を目指して～

校長 村山 孝

猛暑続きの夏休みが昨日で終わり、本日から2学期が始まりました。今年の夏は昨年度の夏と同じように「猛暑・酷暑」が続き、熱中症対策の連続でした。また、「豪雨」「雨不足」など天候が不順の地域もあり、昨今の夏の天候は昔の夏とは異なる様子を感じています。本日から2学期が始まりましたが、今後も暑い日が続くとの予報も出ています。本校では、熱中症対策を徹底し、教育活動を進めてまいります。各御家庭におかれましても、熱中症対策を引き続きよろしくお願いいたします。

さて、本校ではこの夏休み中に、児童文学評論家の赤木かん子氏の監修のもと、本校の図書室を改修しました。赤木先生は都内の特別支援学校の図書館を改修されている全国的にも著名な先生です。赤木先生には今年度当初から、本校の図書室について様々に御指導や御助言をいただいていたいました。児童・生徒の皆さんが興味や関心が湧いてくるような、新たな図書室となることを願って今回改修いたしました。

赤木先生から御指導いただいた言葉の中に「子供たちの興味や関心は学齢を超えていることがあります。時には、大人でも読まない本を、子供たちがリクエストをすることがありますよ！！」という言葉がありました。児童・生徒の皆さんの創造力は計り知れないと思います。本校の子供たちの読書力や創造力などを育むことができる「読書教育」を進めていきたいと思っています。

リニューアルオープンのセレモニーは9月3日（水）午後1時頃から行う予定となっています。今後、図書の貸出しなども行っていきます。貸出し方法などは改めて御連絡いたします。保護者の皆さまも、来校した際は、図書室にお立ち寄りいただけると幸いです。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 防 災 対 策 に つ い て ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

今から102年前の大正12年9月1日に東京都及び神奈川県を中心とした関東地方に大きな地震（震度6）が発生しました。東京都は大きな被害があり、多くの尊い命が失われてしまいました。毎年この時期、東京都では防災対策の報道が多くされます。今年は7月30日（水）、ロシアの「カムチャッカ半島」で大地震があり、日本も一時「津波警報」が出されました。日本で生活する私たちは、過去の災害をよく認識し、報道等された防災対策の情報を意識して生活することが大切ではないかと思っています。

関東大震災から102年たった今、東京は近代化が進み、生活も大きく変わり、災害対策が進んでいます。保護者の皆様も「東日本大震災」「能登半島地震」などの経験の中で生まれた災害対策を受けて、様々な対策を各御家庭で行われていると思います。しかし、何年経過しても、大地震の恐ろしさは変わりません。

1学期の終業式の日発行した「学校だより」では「自助」についてお伝えしました。災害が起きたら、まず自分自身の身を守ることが重要です。自分の命を守ることができたら、家族を守ることできます。ぜひ、御家族の一人一人が「自助」の意識をもって備えていただきたいと思います。また、大災害が起これば、消防署などの公的機関の助けが必要となります。しかし、消防隊はすぐには来てはくれません。災害時には、他の人と助け合う「共助」も重要なポイントになります。南海トラフ地震や関東大震災の報道がされる中、本校では、児童・生徒の皆さんの「命を守る」ことを最重要課題として進めていきます。保護者の皆様も、お子様、御家族などの災害対策を今一度、考えていただけたら幸いです。